

---

◇鈴木正洋君

○議長（森元淑雄君） 次に、3番、鈴木正洋君の一般質問を許可いたします。鈴木正洋君、登壇願います。

（3番 鈴木正洋君 登壇）

○3番（鈴木正洋君） 通告に従いまして、総合体育館の魅力向上策について一般質問をいたします。

論点は2つです。一つは、施設の名称を「美郷町ヨネックス総合体育館」に改めること。もう一つは、オリンピック・パラリンピックに出場した美郷町出身選手の功績をたたえる常設展示コーナーをつくり、スポーツに励む子供たちに夢を与える施設とすること。この2つは、第3次美郷町総合計画のスローガン「”美郷らしさ”を誇り、語りたくなるまち」に沿った取組だと考えます。

まずは、「リリオス」と「ワクアス」という似た名前があることにより、利用者が混乱している現状を認識しなくてはなりません。先にできたのはリリオスのほうですが、覚えやすく言いやすいのはワクアスのほうです。

言葉を構成している音素を見れば、印象に残りやすい言葉かどうか分かります。ワクアスは「WA」という半母音、発音しやすい強い音で始まっているのに対し、リリオスは「RI」という流音、発音しにくい弱い音で始まります。その上、ワクアスは「WA・KU・A・SU」と、ア段とウ段を2回繰り返しているため、音感にリズムがあります。

命名理由の分かりやすさもワクアスのほうが上です。「清水が湧く（ワク）美郷町の未来（明日）に意欲が湧く、私たち（US・アス）の宿泊交流館」という名前に込められた意味を知れば、記憶にもすんなり定着します。しかし、リリオスの場合、「リリオ」がスペイン語で「ショウブ」だと言われても、どれほどの人が理解し納得できるでしょうか。大和言葉をカタカナにしたワクアスと、欧米由来のカタカナ語を使ったリリオスの差です。それに、今となっては命名の元になったショウブもありません。

これらの理由から、リリオスという名称は改めるべきだと考えます。変更するに当たっては、現状を上回るよい名前ではなくてはなりません。「美郷町総合体育館」と合わせたときにじっくりく言葉は、町と包括連携協定を結ぶスポーツ用品メーカー「ヨネックス」だと考えます。「美郷町ヨネックス総合体育館」と名乗ることで、バドミントン競技をする環境が整った施設であるというアピールになり、ヨネックスとの結びつきもより強固なものとなります。ヨネックスは広く知

られたブランド名称であり、ワクアスとは音数が違うため言い間違えることもありません。

楽天イーグルスとスポーツ交流活動パートナー協定を結んだ大仙市は、野球場の名前を「楽天イーグルス大曲の花火球場」に変更しました。ネーミングライツなどの手法が一般化した今では、「美郷町ヨネックス総合体育館」という名称に違和感を覚える人は少ないはずです。

「美郷町ヨネックス総合体育館」に改称した後は、名前負けしていると言われないように、中身のほうもアップデートしていかねばなりません。現在の展示用ガラスケースの中には、大坂なおみ選手のラケットなどヨネックスから提供されたもの、それとオリンピック・パラリンピックに関連した物品が展示されています。これらの展示を軸にして、より一層の充実を図っていくべきと考えます。

八郎潟町には、地元出身のオリンピック選手の功績をたたえるオリンピック記念会館があります。美郷町出身者にもスポーツの世界で頂点を極めた人たち、オリンピックの自転車競技に出場した加藤武久さん、パラリンピックの車椅子バスケットに出場した藤井新悟さんがいます。彼らを顕彰する常設の展示スペースが必要ではないでしょうか。

スポーツに打ち込む少年少女たちが、「美郷町からは立派な選手が出ている。ぼくわたしも頑張ろう」と夢を感じられるような施設です。町民が誇りをもって「美郷町とヨネックス、どちらも素晴らしい」と語りたくなる施設にするには、ヨネックスの展示コーナーも同時に充実させることが重要です。そうしてこそ「美郷町ヨネックス総合体育館」という名前に合った施設になります。

以上、総合体育館の魅力向上策について、ご見解をお伺いいたします。

○議長（森元淑雄君） 答弁を求めます。教育長、登壇願います。

（教育長 福田世喜君 登壇）

○教育長（福田世喜君） ただいまのご質問にお答えいたします。

1点目の美郷町総合体育館の名称に関してですが、その愛称につきましては、平成16年に募集しましたところ、120点の応募があり、選定委員会などを経て「リリオス」に決まりました。その由来につきましては議員のご説明のとおりであり、総合体育館建設当時の周辺地域において、花ショウブが多く栽培されていたという特色を今に伝えるものであります。

「リリオス」は開館から18年目となりますが、各種地区大会や県の大会、国民体育大会などの会場として利用されてきて、町内はもとより、県内でも「リリオス」という愛称で広く親しまれてきております。

議員からご指摘のありました「リリオス」と「ワクアス」という似た名前による利用者の間違

いにつきましては、今年度の両施設の受付状況を確認しましたところ、ワクアスで1件確認されただけでありました。

また、施設の名前に企業名などを入れるネーミングライツにつきましては、企業の知名度の向上や、命名権の有償使用による収益を町が得られることなどもあり、今後の公共施設の管理手法の一つと考えられます。その際、ネーミングライツは、必ずしも愛称の変更を伴うものではなく、例えば「美郷町〇〇アリーナ・リリオス」などと、「リリオス」を使うことも可能です。そこで、「リリオス」という愛称の歴史的な背景や、これまでの認知されてきた現状を考慮いたしまして、引き続き「リリオス」の愛称を継続してまいりたいと考えております。

2点目の、美郷町総合体育館の展示コーナーの充実につきましては、議員ご提案の町にゆかりのあるオリンピックやパラリンピックに出場した選手に加えて、限られた展示スペースではありますが、日本のトップクラスの大会や国際大会で活躍した選手の紹介についても充実させていきたいと考えているところです。

このような取組や、これまで開催してきたマーチングの発表会やフットサルの大会などの継続に加え、新たな大会の誘致にも努めて、より一層魅力ある施設になることを目指してまいります。

以上です。

○議長（森元淑雄君） 再質問ありますか。（「はい」の声あり）鈴木正洋君の再質問を許可いたします。

○3番（鈴木正洋君） リリオスとワクアスの名称の違い、目に見えるところでは1件でしたというふうなお話でした。目に見えるところで1件、目に見えないところではもっとあるんじゃないかと。私だけでなく、町民の方向何人かに取材しましたところ、リリオスとワクアスどっちだっけなという前に、必ず自分の頭の中で確認してから、間違えないようにするという方が何人かいらっしゃいます。そのように両者は似ていると。私は、すぐ口をついてぱっと出るのはワクアスのほうですが、どっちだっけかと言い間違えないように慎重を期して確認した上でワクアス、リリオスと言うようにしていますけれども、そういった目に見えないところでの混乱というのがあるのではないかと私は考えております。

答弁の中では、リリオスを使うことも可能というふうなことで、ヨネックスという名称を使うことに関しては、使わないでありますとか、使うですとか、明確な答弁がなかったように思いますが、使わないということでも理解してよろしいのでしょうか。この2点についてお伺いいたします。

○議長（森元淑雄君） 答弁を求めます。教育長、自席でお願いします。

○教育長（福田世喜君） ただいまの再質問にお答えいたします。

リリオスとワクアスの混同等につきましても、個人によってかなりいろいろあるのではないかと私どもも思っております。

リリオス、この地域において、最初からずっと聞いている人の多くは、リリオスはすんなり分かると。後からのワクアスは新しくできたので、ワクアスかというような声は私も聞いたことや状況があると思います。そういう中で、いろいろな情報によってその人が区別をどうつけるかというのは、認識の仕方はそれぞれありますので、一般論としてこうだろうということとはなかなか言いにくい部分があると思います。そのようなことで、まずリリオスという、先ほど説明いたしました理由で、非常にこれも定着をしている部分もあり、歴史的な背景もあるので、大事にしていきたいというふうなことであります。

それから、先ほど「美郷町〇〇アリーナ」ということで「〇〇」にしましたけれども、この辺のことはいろいろな企業の方で、まずそういうネーミングライツに取り組むかどうかということが、まず私どもの方針として、改めてもう一度検討したり研究しなければならないということもありますし、そうしたときに、また特定のことを、企業を前提にということは公的機関、行政でありますので、そういうことはできないので、やはりそこはその段階でまた公募なりをするということになるかと思っておりますので、そういうことで「〇〇」にしているということでございます。以上です。

○議長（森元淑雄君） 再々質問ありますか。（「なし」の声あり）

これで、3番、鈴木正洋君の一般質問を終わります。